Mai Takahashi

高橋 舞

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。オーストリア国立モーツァルテウム音楽大学大学院修士課程ピアノ・コンサート科修了。バッハに関する修士論文は最高評価を獲得、ウィーン国立音楽大学にて室内楽、チェンバロを学ぶ。
ステファノ・マリッツァ国際ピアノコンクール、フロレンターノ・ロッソマンディ国際ピアノコンクール入賞。これまでにイタリア、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、クロアチアにおいて演奏会に出演。2008年銀座王子ホールでのピアノ・リサイタルを機に、拠点を日本に移す。テーマを持ったレクチャー・コンサートには定評がある。桐朋講座講師。代官山ヒルサイドテラス「高橋舞の新音楽セミナー“聞けば、聴くほど”」講師。六本木シンフォニーサロン「高橋舞の六本木音楽セミナー」講師。2013年アメリカ、サン・ノゼでピアノ・マスター・クラスを開催。2014年セミナー受講生を対象にした「高橋舞と巡る音楽の旅ウィーン、ザルツブルク編」、2016年「同ドイツ編」、2018年「同ハンガリー編」を実施、今後「同フランス編」を実施予定。音楽によるボランティア活動にも力を入れている。東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻修士課程修了。現在、同博士課程在学中。
【高橋舞公式サイト】http://mai-takahashi.com/
【高橋舞Facebook】https://www.facebook.com/piano.mai.takahashi

Fujiko Yamada

山田 富士子

幼少より井口基成、レオニード･コハンスキー、福井直俊の各氏に師事。東京芸術大学付属高校を経て東京芸術大学に入学後、仏政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院入学ピアノをヴラド･ペルルミュテール、マルセル･シアンピ、マルセル･ウークラン、室内楽をピエール･パスキエ、ジョゼフ･カルヴェの各氏に師事。マリア・カナルス国際ピアノコンクール入賞。日本国内を始め、フランス、イタリア、スペイン、カナダ、中国、韓国、マレーシア、タイ、フィリピン等でリサイタル、コンチェルト、室内楽、またラジオ、テレビ等で演奏。日本音楽コンクール、学生音楽コンクール、かずさアカデミア音楽コンクール、スペイン　ハエン国際ピアノコンクール、ヴァレンシア　ホセ・イトゥルビ国際ピアノコンクール等の審査員を務める。イタリア・サンタ･キアーラ夏季国際音楽アカデミー、プラハ・サマー・アカデミーに講師として参加。現在、桐朋学園大学ピアノ科特命教授。子供のための音楽教室の鎌倉教室、水戸教室のピアノ科主任。

Hiroshi Watanabe

渡辺 裕

1953年千葉県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科(美学芸術学)博士課程単位取得退学。博士(文学)。玉川大学助教授、大阪大学助教授、東京大学教授などを経て、現在東京音楽大学教授、東京大学名誉教授。2013年紫綬褒章受章。専門は聴覚文化論・音楽社会史。主な著書は『聴衆の誕生―ポストモダン時代の音楽文化』(1989,サントリー学芸賞)、『日本文化 モダン・ラプソディ』(2002,芸術選奨文部科学大臣新人賞)、『歌う国民―唱歌、校歌、うたごえ』(2010,芸術選奨文部科学大臣賞)、『サウンドとメディアの文化資源学―境界線上の音楽』(2014)、『まちあるき文化考：交叉する〈都市〉と〈物語〉』(2019)ほか。「オリンピックと音楽」という今回のテーマとの関連では、『感性文化論：〈終わり〉と〈はじまり〉の戦後昭和史』(2017)において、日本人の感性のあり方が1968年前後を境に大きく変容したことを論ずる中で、1964年に行われたオリンピック東京大会を取り上げ、それがむしろ「戦前」的な感性や心性の延長線上に成り立っていたことを明らかにしている。

代官山ヒルサイドテラス
クラブヒルサイドサロン
（ヒルサイドテラスアネックスB棟 2階）

東京都渋谷区猿楽町30-2
TEL:03-5489-1267

東急東横線 代官山駅 より 徒歩3分

【高橋舞の新音楽セミナー申込書】

申込先：株式会社オフィスクラング
FAX　03-3334-6941　　E-MAIL　info@office-klang.com

＊ご希望の回、または4回セットに☑してください。

☐第1回　☐第2回　☐第3回　☐第4回　☐4回セット

ご氏名（ふりがな）

ご住所　〒

E-MAIL　TEL　FAX

頂きましたお客様の個人情報は厳正に取り扱い、本セミナーに関する連絡・確認以外には使用致しません。